

箕輪町 議会だより

# みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第96号  
2026.5.1



農あるまちの風景

特集

## 事業選択と次世代への投資 令和8年度予算を問う … P2 — 令和8年度予算 —

CONTENTS	● 3月定例会で決まったこと …… P8	● 町政のここが聞きたい！
	● 審査のなかみ …… P10	● 一般質問 …… P13
	● 箕輪町議員報酬の実態 …… P12	● 議会活動日誌 …… P23
		● 自治のチカラ …… P24



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！ 各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

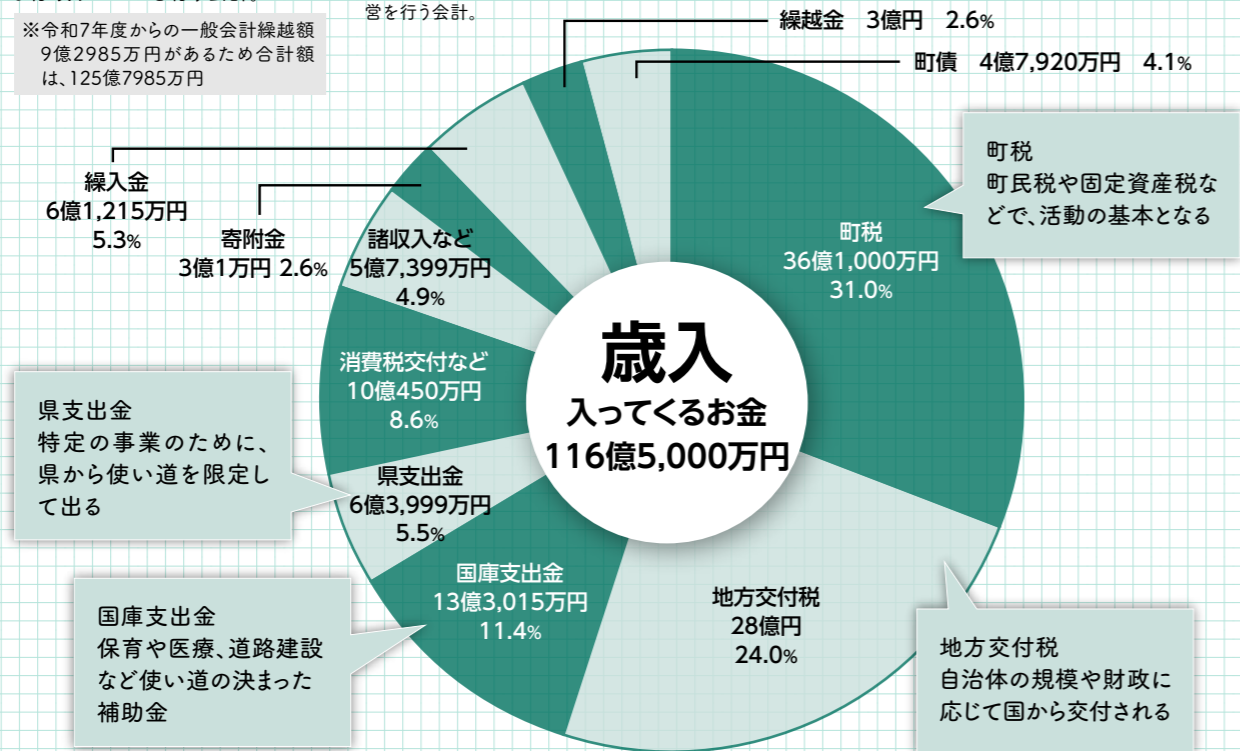
# 令和8年度 予算

3月定例会で、町から提案された当初予算を全会一致で可決しました。予算の4割超を占める義務的経費等が増える中、事業の見直しを行い、選択と集中による予算編成となっています。議会は町民の代表として、その執行をしっかりとし、検証し、施策が町民の暮らしに確実に届いているか厳しくチェックしていきます。

全会一致で  
**可決**

一般会計	特別会計	公営企業会計	総額
116億5,000万円 前年度比 4.4%減	50億4,287万円 前年度比 1.6%増	15億4,222万円 前年度比 1.0%増	181億9,709万円 前年度比 2.3%減
教育、福祉、道路整備など、基本的な行政サービスを行う会計。	国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険と新たに産業団地造成事業を追加し各事業運営を行う会計。	上下水道事業運営を行う会計。	

※令和7年度からの一般会計繰越額9億2,985万円があるため合計額は、125億7,985万円



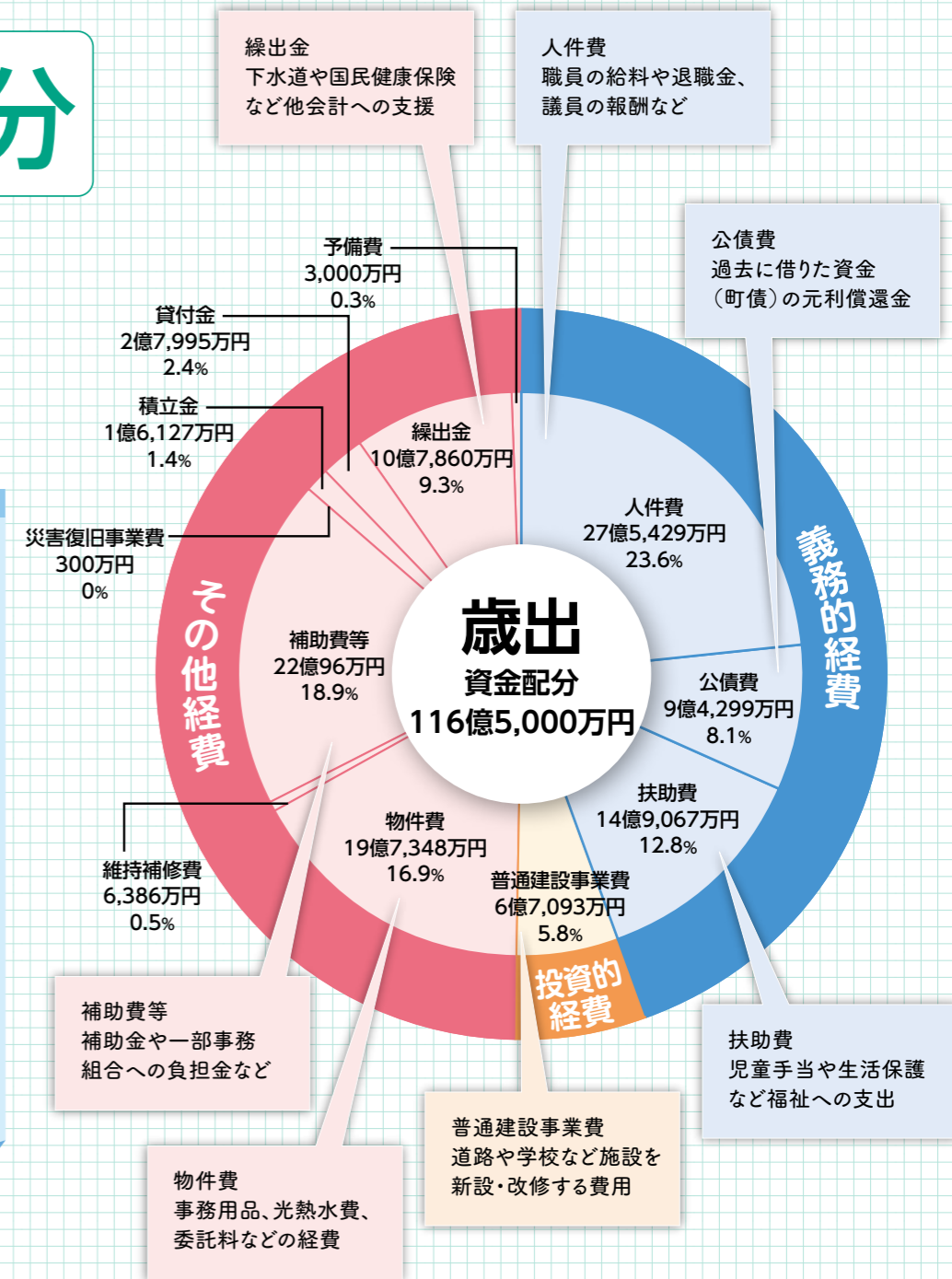
# 資金配分

歳出は、限られたお金をどこに使うかという「資金配分」です。支出が増える中で、暮らしを支えるお金と将来のバランスをどう取るのかが問われます。

## 増える義務的経費、問われる投資の余力

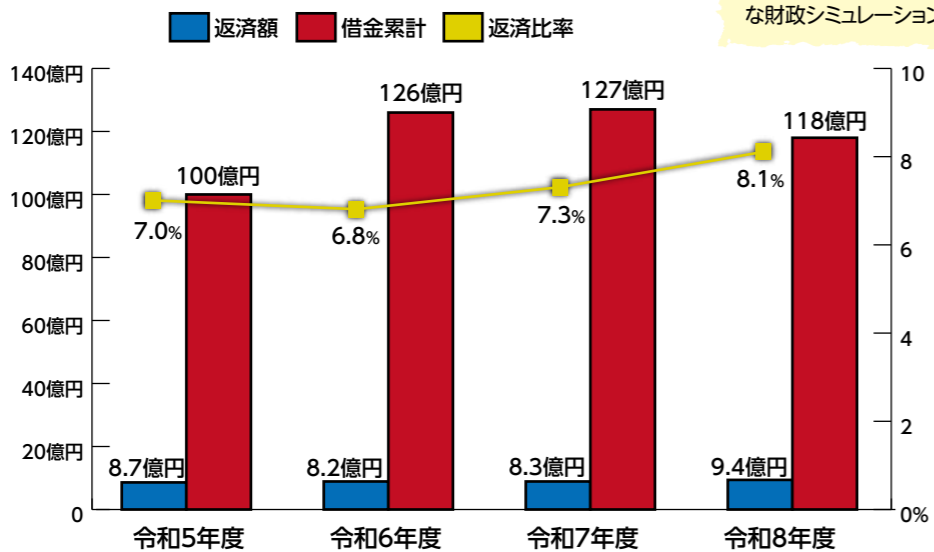
人件費、公債費、扶助費を合わせた「義務的経費」が前年度より2億5,549万円(5.2%)増加し、予算全体の44.5%を占めている。そのため、使い道を見直ししながら、事業の優先順位づけが進んでいる。

**ことば解説**  
義務的経費  
必ず支出が必要になる経費。増えていくと、自由に使えるお金が少なくなる。



## 町の借金、将来への負担はどうか

町債残高と公債費の推移から読み取る財政運営  
(借金累計) (返済額)



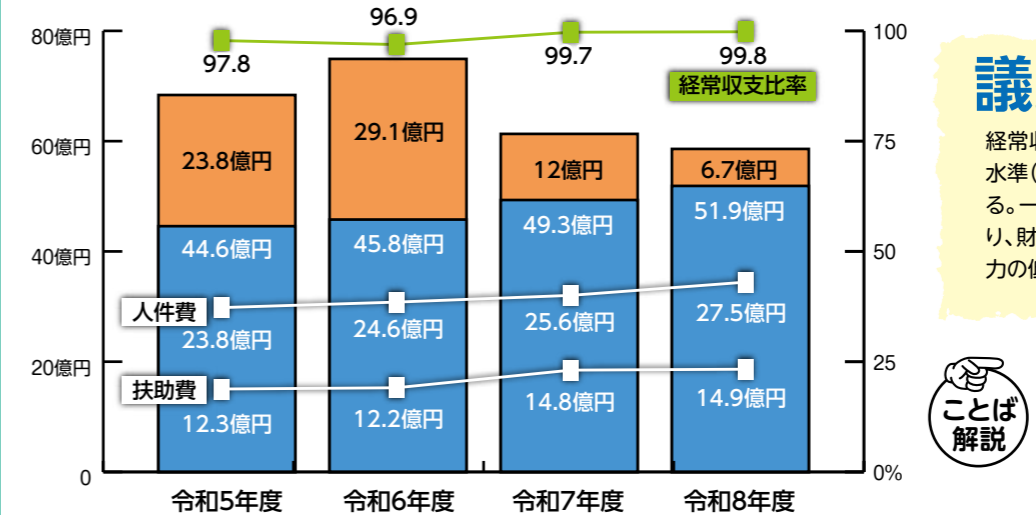
## 議員の視点

118億の町債をどう返済していくのか? 将来への負担を見据え、どうバランスを保つのか。中長期的な財政シミュレーションを早期に示すよう求めた。

**ことば解説**  
公債費…町が借りたお金(町債)を返済するための費用。交付税で補填もある。

返済比率…一般会計予算の中で返済額が占める割合。

## お金の使い道からみる財政の推移



## 議員の視点

経常収支比率は99.8%と、望ましい水準(80%前後)を大きく上回っている。一方で投資的経費は減少しており、財政の硬直化と将来への投資余力の低下が課題。

**ことば解説**  
経常収支比率…毎年必ずかかる経費に対し、自由に使えるお金がどれだけあるかを示す指標(低いほど余裕あり)。

# 予算特集ピックアップ

予算の詳細は「みのわのみ4月号」または町のホームページをご覧ください。



## 子育て・教育 松島保育園の改修と 給食費の支援

施設の老朽化対策と家計負担の軽減

- 松島保育園の大規模改修 3,498万円  
令和8年度から9年度にかけて園庭整備や建物の長寿命化工事を実施。
- 給食費負担軽減 約9,100万円  
物価高騰対策として、小学校で1食あたり約283円、中学校で190円の補助を行い、保護者の負担を抑える。



## ゼロカーボン・防災 SDGs未来都市への投資

脱炭素と防災を組み合わせた  
「未来への投資」

- 保育園・小学校の太陽光設備事業 約1.9億円
- 公共施設のZEB化・省エネ改修  
保健センターのZEB化設計(594万円)や、30施設におよぶLED照明の導入(1,887万円)など、環境負荷を抑えつつ避難所の機能を強化。
- 家庭・事業所への補助 約8,140万円  
太陽光発電や蓄電池、断熱リフォームへの助成を継続。



## 産業・インフラ 道の駅オープンと 産業団地への挑戦

町の将来の「稼ぐ力」と「雇用の場」を創り出す

- みのわテラス「道の駅」化 約1億円  
令和9年4月のオープンに向け、休憩機能や情報発信機能を備えた施設整備に着手。
- みのわテラス屋内遊戯施設整備(設計) 2,035万円
- 新規産業用地の確保 6,800万円  
木下一の宮地籍での産業団地造成に向け、新たに特別会計を設置し、測量や実施設計などの調査・設計を本格化する。



## 生活基盤 安全で親しまれる 「みのわ天竜公園」の大改修

事業費 約6,377万円

開園以来初めてとなる大規模な長寿命化工事1期を実施。老朽化した噴水周りの段差解消によるバリアフリー化を行い、多世代が安全に利用できる親水公園へとリニューアル。



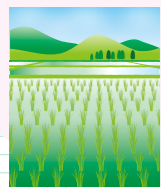
天竜公園 噴水エリア

## みなさんの声が予算に反映されました(一例)

### 土木農林道関係

区分担金見直し30%▶15%へ

農道や水路改修の際に区が負担していた費用割合を減らした



### 田んぼオーナー事業

20万円

地産地消と農ある暮らしの体験として稲作の農業体験をする

### 産後ケア事業

8割補助35,000円上限▶

全額補助50,000円上限

産後うつ、精神疾患等の増加



### 学校給食米

箕輪産へ 83万2千円

小中学校を全量町内産米へ切り替え供給する

### 町の若者支援

箕輪町の未来を担う世代応援金 350万円

町内に住む新規就職者等に2万円分のみのちゃんポイントを上限3年間交付する



## 令和8年度予算に対する 議員の視点

みなさんが望む町の姿がみえる予算になっているか、議員それぞれの視点で審議しました。



### 町の借金残高

借金残高は118億円に達する。今後の返済見通しと、水準は。

**答** 今後もしばらくは借入残高は増加する見込み。実質公債費比率10%以内を目安とし、財政の健全性維持に努める。

金利上昇局面、事業を前倒しするのか、先送りして平準化を図るのか。

**答** 財政面からは先送りし、返済の平準化を図る方が望ましい。今後の基本は交付税措置のない(町の負担が重い)起債は起こさず、事業実施する。

借金(町債)の返済額の推移は。

**答** 町民体育館改修などの大型事業の返済が始まる令和11年度頃がピーク。

### 施設の指定管理

民間の指定管理者は、自主事業で収益を伸ばし、その分指定管理料を段階的に減らしていくのが本来では。

**答** 自主事業による収益確保は重要。今後、運営状況を見ながら指定管理料の縮減も検討していく。

### 福祉

8年度予算で拡充される高齢者施策の内容は。

**答** 要支援等の「フレイル予備軍」を対象に、自立支援のための短期集中リハビリ事業を開始する。

障がい児等給付額が5年で1.4倍と給付額が急増。分析と今後の取組は。

**答** B型作業所や放課後デイ等の利用増が要因。適切なサービス提供の結果だが、持続可能な運営も考慮する。

### 人口減少

20代女性の転出超過が深刻。背景を分析し、どう定住施策に繋がったか。

**答** 進学・就職時の選択肢の少なさが一因。新設する産業団地には女性の活躍に積極的な企業を誘致したい。若者の価値観に合う魅力ある地域づくりを模索する。

### 公共交通

まちなかタクシーやみのちゃんバスは、多額の公費負担となっている。利便性と、制度の持続可能性を両立させる見直しは。

**答** タクシーは、1人の公費負担が年30~40万円に達する場合もある。バスは乗務員不足により大幅な時間延長は困難。増加する後期高齢者の社会活動支援と、税負担の整合性を検討する。

### 町道の維持

道路の場当たり的な補修を脱し、路面全体の寿命を延ばす計画的な維持管理への転換をすべき。

**答** 分担金制度下での課題。効率的な予算執行のため、一定距離をまとめる手法や、分担金に寄らない柔軟な補修の運用を研究する。

### 学校施設の長寿命化計画

将来財政に直結する学校施設の長寿命化が予算にない。

**答** 現在、実施計画を研究中である。今回は財源不足により見送った。実施計画の策定は、1年先送りする。



入杉 百合子 議員

見直し事業や、振興計画に沿った主な事業について、一般質問や委員会審査でもう一步踏み込んだ審議が欲しかった。道の駅化事業やみのわ天竜公園長寿命化事業については、事業経過の推移を見守る必要があると思う。

もう一步踏み込む審議を



平出 広志 議員

窓口申請時に住所、氏名を「書かないシステム」の導入のDX推進事業の実施スピードが遅い。「道の駅」整備計画は更に議論し、新たな付加価値を持つ施設となることを期待する。

DXを急ぎ道の駅は深化を



荻原 省三 議員

地方交付税や町税の増を見込む一方、寄付金減に対応し補助金や地方債で財源確保。歳出は見直しを進め前倒しと先送りを調整し、子ども・若者・女性に選ばれる社会づくりを目指す点を評価する。

選ばれる町へ財源確保を評価



金澤 幸宣 議員

厳しい財政状況の中、主な施策として掲げている12事業のうちハード事業は極少数。重要施策はソフト事業に軸足を置いた当初予算である。持続可能な自治体として生き残るための未来に向けた投資予算であり評価できる。

ソフト重視の未来投資予算



白鳥 真吾 議員

新事業があるが、もう少し具体的に示して欲しかった。限られた財源で事業の見直しがされている点は評価できるが、物価高支援について力を入れてもいいと感じた。どのように「しんか」をしていくのか注視をしていく。

新事業はもっと具体的に



中野 友美 議員

事業見直しを断行した点は評価するが、新規の挑戦が乏しい。これで町民が「まちづくり」を感じられるか？町債残高118億円の中、将来の財政シミュレーションが示される前提で、及第点とする。

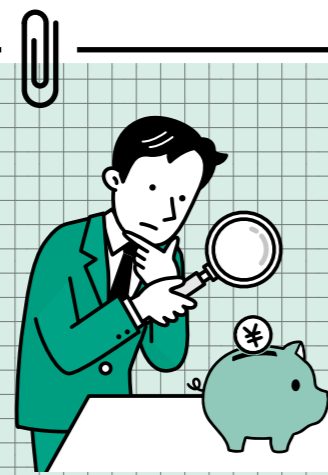
新たな挑戦がもう一步ほしい



上田 学 議員

必要な予算は組まれているが、将来の財政指標や地域経済の見える化に踏み込んだ編成とは言い難い。今を回す予算から、未来をつくる予算への一步がもう少し欲しいと感じた。

未来をつくる予算へもう一步



# 議員は どう見た？

## 令和8年度予算を 議員が評価

令和8年度予算は、厳しい財政状況の中で編成されました。見直しによる「守り」と、将来に向けた「投資」のバランスをどう評価するか。議員それぞれの立場や視点から、多様な意見が示されています。同じ予算でも異なる見方があることを感じながら、ご覧ください。



岡田 建二郎 議員

【老朽化施設の建て替え・大規模改修が一区切り予算】と受け止めている。産業支援や区要望など、やらなければならない事業は予算化されている。今後は、配慮が必要な地域への支援でバランスのとれた施策展開に期待。

大型改修に一区切り 次の展開へ



小口 智世 議員

全体的には適正規模に思うが、障害福祉サービス給付費に注目。令和7年度の見込額は約7億5千万円と5年前と比べて1.4倍。予算では6億3千万円だが大幅補正が予測される。生きづらさ解消に向けた施策が必要。

生きづらさ解消へ施策を



寺平 秀行 議員

第5次振興計画の締めくくりを見据えた堅実な予算だと思う。一方、若年層の定住促進や財政健全化、学校の長寿命化、教育・福祉の充実など、課題も見えてきた。また、若年層への特殊詐欺対策などは早期対策が必要。

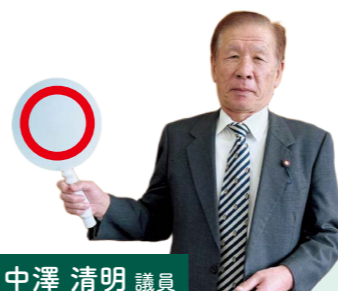
町民視点で 着実な執行を



北野 めぐみ 議員

女性活躍を応援する『箕ルプロジェクト』は、地域のさまざまな力を伸ばしていく大切な取り組みだと考える。町がこれからも成長していけるよう、また誰もが安心して挑戦できる町になるよう見守っていききたい。

誰もが挑戦できる町へ



中澤 清明 議員

予算フレーズが令和5、6、7年と続いた「持続可能な町づくり予算」⇒「SDGs未来都市予算」となったが、行政の継続性や財政の健全性に留意した手堅い安全運行予算といったところかなと思う。

継続性と健全性を重視



中村 政義 議員

人口減少や高齢化が進む中でも、安全で安心して心豊かに暮らせるまちづくりの実現を念頭に行われた予算編成。主な施策としては、みのわテラスの道の駅化事業、松島保育園の大規模改修事業等、将来発展していくための予算。

将来発展につながる予算



小出嶋 文雄 議員

堅実な中にも未来に向かって箕輪町を持続可能な町にしていく施策が評価できる。町民体育館のリニューアル事業が完成し、子ども真ん中社会推進のための事業、DX推進など評価。もう少し土木事業に力を入れてほしい。

未来を見据え土木にも力を

# 3月定例会でこんなことが決まりました



■会期：3月2日(月)～16日(月) ■議案：31件可決 ■意見書3件可決 ■陳情2件採択・1件不採択

## 条例改正 特別職の報酬及び給与に関する条例の一部改正

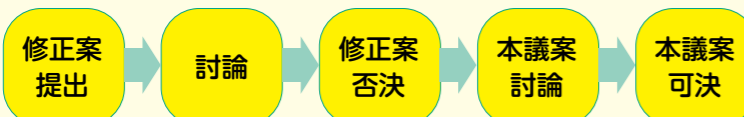
箕輪町特別職報酬等審議会の答申に基づき以下の給与並びに報酬を改定する

▶据え置きになった  
議員報酬についてはP12参照

	改正前	改定後
教育長	562,000円	580,000円
教育委員	24,000円	25,000円
農業委員	25,000円	32,200円
福祉事務調査専門委員	8,900円	10,600円

平出	荻原	金澤	白鳥	中野	上田	岡田	小口	寺平	北野	中澤	中村	小出嶋	入杉	結果
○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	-	可決

### 可決するまでの経緯



### 修正案提出 「教育長の報酬増額施行時期を3ヶ月延期」とする。

#### 修正案提出の理由

- 教育行政において深刻な事件が発生し、組織としての検証・再発防止・信頼回復・自らの減給措置直後からの増額について町民の理解を得ることが難しい。
- 報酬改定自体は否定せず、施行時期を3ヵ月延期し、状況を見極めるため。

### 本議案討論 原案のまま賛成多数で可決

#### 賛成討論

- 再発防止のための施策の充実をすることが信頼回復につながる。
- 議会が懲戒処分にする権限はない。

#### 反対討論

- 不適切行為の相談があった管理側に、抜本的な対応がとられなかった組織的な安全管理の問題である。
- 地域社会の信頼を根本から破壊したこの事案の重みは、わずか2か月の減給や法的な罪の有無ではかれるほど、軽いものではない。

平出	荻原	金澤	白鳥	中野	上田	岡田	小口	寺平	北野	中澤	中村	小出嶋	入杉	結果
×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	-	否決



### ことば解説 修正案

議案の内容に対して、一部を変更して可決しようとする提案のこと。

## 請負契約 小学校・保育園への太陽光発電設備・蓄電池整備工事

請負者 日之出建工株式会社

1億6,720万円

平出	荻原	金澤	白鳥	中野	上田	岡田	小口	寺平	北野	中澤	中村	小出嶋	入杉	結果
×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決



### 可決するまでの経緯

小学校、保育園への太陽光発電設備・蓄電池整備工事の請負契約が提案された。入札は2回行われ、その後は随意契約となった。

1回目の入札額(2億3,000万円)との開き(約8,000万円減)や議案提出の時期をめくり動議が出され、委員会付託となり審査。本会議で可決した。

#### 賛成討論

- 町にとって有利な契約額である。
- 入札の過程に不備がなければ認めるべき。
- 設計と入札の間に価格差が出ることはあり得る。

#### 反対討論

- 価格差が大きく、随意契約で大きく下がった経過に疑問がある。
- 業者に無理を強いるおそれがあり、再入札すべき。
- 議案の出し方や説明体制にも課題がある。

## 請負契約 町民体育館耐震改修リニューアル事業

### 建築工事

請負者 浅川建設工業株式会社  
増額 3,832万円(総額12億432万円)

### 設備工事

請負者 株式会社マツシマ  
増額 1,711万6千円(総額2億7,988万円)

### 電気工事

請負者 有限会社高木電工  
増額 796万4千円(1億8,792万円)



## 人事案件

- 人権擁護委員  
中村雅子氏を新任。  
任期3年(7月1日付)
- 固定資産評価審査委員  
柴敏夫氏を再任。  
任期3年(3月20日付)
- 教育委員  
藤澤康一郎氏を再任。  
任期4年(4月1日付)

## 指定管理 萱野高原、植物園、ながた自然公園

指定管理者 株式会社みのわ振興公社



萱野高原・植物園  
3年間(令和8年4月1日付)

739万2千円



ながた自然公園  
3年間(令和8年4月1日付)

2,138万4千円

## 指定管理 夢まちLabo

指定管理者 株式会社ローカルライフ



3年間(令和8年4月1日付)

4,167万5千円

## 意見書

### 中東地域での戦闘行為の中止と平和的解決を求める意見書

提出者 総務産業常任委員会

平出	荻原	金澤	白鳥	中野	上田	岡田	小口	寺平	北野	中澤	中村	小出嶋	入杉	結果
○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	-	可決

#### 賛成討論

- 生活への長期的な影響を及ぼさないためにも、一刻も早い戦争の終結をするのが得策だ。
- 今回の攻撃が国際法違反だと考える。

#### 反対討論

- 国際法を禁止する案件であるのかを箕輪町議会として判断する立場に立つことは時期尚早だ。
- 日本政府には一旦距離を置いて、同盟国との協調を進めるべきだ。

## 陳情

### 医療制度 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書

提出者 上伊那医療生活協同組合 箕輪町支部連絡会



### 医療制度 高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書

提出者 長野県社会保障推進協議会



## 陳情

### 労働 最低賃金法の改正と中小企業等支援の拡充を求める意見書

提出者 上伊那地区労働組合連合会

平出	荻原	金澤	白鳥	中野	上田	岡田	小口	寺平	北野	中澤	中村	小出嶋	入杉	結果
×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	-	不採択

#### 賛成討論

- 理想として全国一律を求めてもよいのではないかと。
- 地方創生観点からも都市部と同等の賃金環境を整えることには意義がある。

#### 反対討論

- 中小零細企業の実情や地域間の物価に差があり、現状では実態とのずれが生ずる懸念がある。

■防災倉庫を新設(中曽根) 842万6千円

- Q 旧農業集落施設に防災倉庫を設置する位置は、土地を有効活用するため再検討が必要では。
- A 今回は規模が大きく基礎の課題がある。設置場所を再検討する。

■夢まちLaboが3年間の指定管理へ 委託費：上限額 4,167万5千円

- Q 民間事業者が事業収益を伸ばし、指定管理料を減らしていくのが本来の形ではないか。
- A 収益確保は重要だが、過大見込みはリスクのため、まずは3年間の上限を設定した。



夢まちLabo フリースペース

■木下交差点改良工事(末広)

- Q 年度繰り越す工事の内容とグリーンベルトの設置は。
- A 精算事務と補償算定を繰り越す。グリーンベルトは両側に設置する。



木下交差点

■税収の動向 個人町民税が4,000万円減収

- Q 個人町民税は減少し、法人税は増加している。法人は利益を確保している一方で、労働者への還元が進んでいないのか。
- A 個人所得は横ばいだが、ふるさと納税流出は600万~700万円程度ある。全国的に賃上げのニュースはあるが、町内で所得の上がっている人は一部。法人は増益企業により増加。

現地確認 総務産業常任委員会 3月11日(水)

- ①防災・基盤整備の確認
  - ・防災倉庫設置予定地(旧西部南農集排処理場) ・町道認定予定地(松島・沢)
- ②道路・歩道整備の進捗確認
  - ・道路補修(八乙女多目的センター前) ・歩道新設(町道1号線・町道52号線)
  - ・町道6号線拡幅(交番東側) ・木下末広通り改修工事
- ③公園整備・休憩機能の確認
  - ・みのわ天竜公園 長寿命化事業
- ④森林整備の取組確認
  - ・樹種転換 下刈り業務(福与)



旧西部南農集排処理場(中曽根)



町道52号線(大出)



樹種転換している山林(福与)

■役場職員評価

- Q 人事評価システム活用状況は。
- A 3月末までに評価を行い、昇給や昇格、人事異動等に有効活用していく。

■地域おこし協力隊

- Q 地域おこし協力隊を「委託型」から「会計年度任用職員」に変更するメリットは。
- A 役場内に席を置き、ミッションを指定することで活動の迷いを防ぐ。



隊員の活動風景

■農業政策

次世代農業支援、制限を大幅緩和

- Q 兼業就農の年齢制限ほか緩和条件は。
- A 60歳以上も対象、独立就農しなくても返還不要にするなど。

農業体験「こども菜園」の中身は

- Q こども菜園の事業内容は。
- A みのわテラスのイベントと連携し、子どもの農業体験として実施予定。



こども菜園のイメージ

■くらしの安全安心関連

- Q まちなかタクシーの使用料は、昨年と比べて増えているのか。
- A 令和6年度の決算額は17,264千円、令和7年度決算見込額は22,247千円となっている。



まちなかタクシー

■福祉関連

- Q イオンから移転する「みのわ〜れ(障がい者地域活動支援センター)」は、今までとどう違うのか。(移転費用：予算1,000万円)
- A レストランの部分はなくなるが、傾聴を重視した支援となる。



みのわ〜れ



ほっこりルーム

障がい者就労体験のレストラン「みのわ〜れ」は一定の役割を果たしたため廃止。子育て支援ルーム「ほっこりルーム」は、子育て支援センター「いろはげっと」に統合されます。

- Q 介護認定の推移は。
- A 令和元年は要介護と要支援を含めて989人だったが、令和6年度は1,091人と増加している。軽度の要介護1・2が増え、逆に要介護5は減少。

現地確認 福祉文教常任委員会 3月11日(水)

- ・保健センター(エレベーター改修) ・地域交流センター(太陽光改修) ・松島保育園(大規模改修)
- ・中部小学校(ふるさとルーム)



太陽光改修した地域交流センター



大規模改修する松島保育園



中部小学校のふるさとルーム

■子ども居場所拠点

- Q 子どもの居場所拠点2カ所は、委託料(1,002万8千円)を出しているが、今後増やしていく予定はあるのか。
- A 松島・木下2カ所で運営している。毎日10人弱が利用している状況。定員の中で運営ができており増やす予定はない。



だん暖(だんだん)

■松島保育園の大規模改修工事

- Q 保護者への説明はされたのか。



松島保育園

- A 今現在保護者への説明はしていない。質問等に十分対応できるように、設計が80%できた頃に行う予定。

■女性の就職相談

- Q 女性の就職相談を夢まちLaboに一本化するようだが、今後の体制は。
- A 就職相談に関することは夢まちLaboに一本化。セミナーや合同企業相談会は別業者に委託し、今まで通り行なっていく。また「箕ルプロジェクト」として、起業に力を入れ1対1で伴走型の相談もしていく。



夢まちLabo

あなたはどのように思いますか？

# 箕輪町議員報酬の実態

箕輪町特別職報酬等審議会の答申に基づき箕輪町議員の給与並びに報酬は据え置きとなりました。

現在の箕輪町議員報酬は月額23万8千円です。ここから税・保険料が差し引かれ、交通費や研修費、会費・懇親会費などは個人で負担しています。全国の人口2万人以上の町村、県内で政務活動費のある主な町村、上伊那近隣の水準と比べました。



## 議長のコメント

来年の改選を前に、今回、議員報酬が据え置かれたことは非常に残念です。議員活動の実態を踏まえ、住民の理解を得ながら、適正な報酬のあり方について今後も丁寧に議論を重ねていく必要があると考えています。

箕輪町議員報酬  
月**23.8万円**  
政務活動費なし

全国同規模平均  
月**27.3万円**  
差額 -35,340円

議員活動実績  
**252日**  
法定 102日 / 法定外 150日

県内で政務活動費制度あり  
**11町村**  
58町村中

## 月額23.8万円でも手取りは月約14.5万円

A議員の一例(概算)

月額報酬 **23万8千円**

所得税	31,500円
住民税	13,300円
国民年金	17,920円
国民健康保険税	30,000円

控除計 **92,720円**

※単身・国保/国民年金加入・報酬以外の所得なしで試算。  
※家族構成や世帯所得で変わります。  
※期末手当が年2回あります。

## 個人で払う主な費用

- 交通費・ガソリン代
- 会費・懇親会費
- 研修会・資料代
- 電話・通信費

※委員会等の活動では、予算が付きます。



**ことば解説**  
政務活動費  
議員が調査・研究や広報活動などを行うために使う経費。議員個人の報酬とは別のお金。

町政の  
ここが  
聞きたい!

# 一般質問

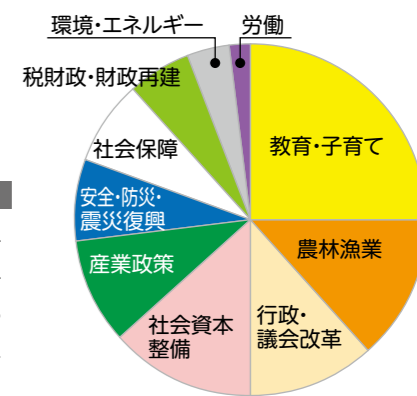
議員13人が町に  
質問・提案しました。

主な質問	議員	ページ
令和8年度の教育方針は	白鳥 真吾	14
将来も自立できる町とは	上田 学	14
小1プロブレム、新入生の現状は	平出 広志	15
町道補修工事を長いスパンで整備を	小出嶋文雄	16
既に始まっている『多死社会問題』町の対応は	金澤 幸宣	16
道の駅整備の方向性は	荻原 省三	17
集中豪雨対策の松島区整備具体的内容は	中村 政義	18
高齢者の栄養管理とフレイル予防の実態の把握は	北野めぐみ	18
持続可能な農へ 多様な担い手への支援は	中野 友美	19
人口減を受け入れたスマートシュリンク型のまちづくりを	中澤 清明	20
雇用の確保を主眼にした企業誘致を	岡田建二郎	20
産業団地造成でどれほど雇用が増えるか	寺平 秀行	21
有機専用町民菜園の検討は進んだか	小口 智世	22

## 「あなたの関心事はどれ？」

3月議会の一般質問で、議員が取り上げたテーマを、分野ごとに可視化しました。

政策分野の内訳	質問件数(52件)
教育・子育て	13
農林漁業	7
行政・議会改革	6
社会資本整備	7
産業政策	5
安全・防災・震災復興	4
社会資本整備	4
税財政・財政再建	3
環境・エネルギー	2
労働	1



## 知ってる?

## みのわまちのいいところ

### ながおかとざわじぞうそん ひぎ 長岡十沢地蔵尊(十沢日限り地蔵)

起源がはっきりとしたものは残っていないが、室町時代に長岡から三日町へ寺を移す際に、お地蔵様が「地域の方や子どもが大好きだから、ここに残りたい」とおっしゃり現在に至ったのが語り継がれている。

現在は地蔵尊保存会を長岡区各常会から役員を出し、毎月4日・14日・24日に縁日、毎年4月24日に大祭を開催している。この地蔵様は日を限ってお願いすれば、必ず遂げられるということから、「十沢日限り地蔵」といわれ、あまねく人々に広大無辺のご利益をそそいでくださるとされている。御利益があるということで、東京・兵庫・静岡等遠方からもお参りに訪れる。大祭時には大行列になり伊那松島駅までつながった話もある。私も小学生の頃、自

転車でいった思い出がある。  
素敵な天井絵もあるので、一度訪れてみては。四季それぞれ、その日その日で違った地蔵尊との出会いがあるはず。  
筆 中村政義



箕輪町の「いいところ」があつたら教えてね。  
✉ gikai@town.minowa.lg.jp

## 比較のポイント

- 全国の人口2万人以上の町村平均は27.3万円です。
- 県内には政務活動費がある町村もあり、条件は一律ではありません。

### 県内で政務活動費がある主な町村

自治体	議員報酬(月額)	政務活動費(月額換算)
箕輪町	23万8千円	なし
軽井沢町	26万1千円	8,300円
御代田町	23万5千円	6,000円
松川町	22万8千円	7,000円
青木村	22万4千円	8,000円
坂城町	22万4千円	5,000円

### 上伊那近隣の議員報酬

自治体	議員報酬(月額)
箕輪町	23万8千円
辰野町	23万3千円
南箕輪村	22万1,500円
宮田村	19万7千円
伊那市(参考)	36万8千円
駒ヶ根市(参考)	31万3千円

※議員報酬は一般の議員の月額。政務活動費は1人あたりの月額または月額換算です。  
※掲載は主な町村。県の公式集計では58町村中11町村に制度があります。

## 令和8年度の教育方針は

**教育長** 子どもが主役の学校づくりを掲げ取り組んでいく

**議員** これまで進めてきた子どもが主役の学校づくりやTOCO-TONが本格的に始まる。どのような学校教育を行っていくのかなど、新年度の教育方針は。

**教育長** 令和8年度はTOCO-TONが本格実施の大切な年となる。子どもが主役の学校づくりを掲げ、小中学校みんなで取り組み、具体化し、学校での子どもたちの活躍の様子が見られるようになるか。これが問われる年になる。6つのプロジェクトを中核にして取り組んでいく。

**議員** これまでも、各学校のふるさとルームや学校ボランティアなどで地域の皆さんが参加をされている。新年度から「結さぼ」が始まるが内容は。



「結さぼ」登録票

**教育長** 田んぼや畑づくりのことを教えていただいたり、家庭科のミシンの授業などで地域の皆さんに参加をしていただいていたが、人材リストとして「結さぼ」をつくり、情報を小中学校で共有して、お願いできることやお手伝いいただけることを一括して見ることができるようになりたい。

**議員** 「結さぼ」の登録方法は。

**教育長** 各学校に申し出てもらうか教育委員会でもよい。今まで関わっていただいたみなさんには登録用紙

を配布している。登録制になるので、子どもたちの安心・安全を担保できるようにになる。

### 中高生によるみのわデザイン会議

**議員** こどもまんなか推進の取り組みとして「中高生によるみのわデザイン会議」が計画されている。子どもたちの思い・提案を受けて、子どもたちの目線に立って検討し、結果については、こどもたちと共有するのがデザイン会議の目的であると思う。計画をされているデザイン会議の内容は。

**町長** 子どもたちが自分たちの意見を聞いてもらえたという実感ができることを目的に計画をしている。現時点では、具体的な計画や方法については検討中。中学生のキャリア学習や模擬議会にくわえて、高校生からも新たに提案を募集し、行政などがどのように検討したのか、分かりやすくフィードバックする場を創出することを考えている。

**議員** 小学生が参加できないのであれば、思いや提案を聞く機会の実施を。

**町長** どのような場所・日程・環境であれば意見が言いやすいのか。また、参加しやすいのか、子どもたちから意見を聞き、多くの思いを聞けるような機会をつくるように取り組んでいきたい。

しろとり しんご  
白鳥 真吾 議員



## 将来も自立できる町とは

**町長** 持続可能な行財政運営と住民自治が鍵

**議員** 将来、箕輪町が合併を議論せざるを得ない状況をどう考えるか。

**町長** 現時点で合併を前提とする状況にはない。ただし、財政、人口構造、公共インフラ、職員体制、住民意識などは大きな要因になる。財政の健全性が損なわれ、自立的な運営が難しくなれば、広域化を考える場面もあり得る。

**議員** 平成の大合併で自立を選んだ判断をどう評価するか。

**町長** 当時の選択は妥当だった。行政改革や行政の質の向上には一定の評価ができる一方、公共施設や社会資本整備では、自立の道を選んだがゆえにやや消極的な面もあった。

**議員** 合併は人口減少や地域経済の課題の解決につながるのか。

**町長** 合併は行政効率を考える上で一つ的手段ではあるが、地域経済の構造変化とは必ずしもつながらない。行政単位の再編だけで、人口減少そのものや地域経済の課題が直接解決するわけではない。



地域内経済循環のイメージ

うえだ まなぶ  
上田 学 議員



**議員** 単独自治体として存立し続ける条件は何か。

**町長** 持続可能な行財政運営のもとで基本的な行政サービスを維持できること、そして住民自治の実感があることが大きい。

**議員** 地域内経済循環はどの程度把握しているか。

**町長** 産業振興や雇用の確保、地域内循環は重要だが、一般消費まで含めた具体的な精査は十分ではない。働く場所を確保し、所得を上げ、それを地域に還元していく仕組みが必要だ。

**議員** 一般の消費も含め、お金がどう回っているか調査すべきでは。

**町長** 前回の振興計画でも地域内循環を掲げたが、そこまでは至っていない。緊急に考える必要がある。

**議員** 専門的な視点を入れた調査を行う考えはあるか。

**町長** 町民は住むだけでなく、所得を得て初めて定着できる。必要性があるので、どんな形ができるか研究していく。

## 小1プロブレム、新入生の現状は

**教育長** 増加傾向にあり、課題である

**議員** 入学後に生活習慣の変化や学習の移行に戸惑いを感じ、興味や関心を失ってしまう「小1プロブレム」の現状と今後の取組は。

**教育長** 県平均を若干上回る状況であり、遊び中心の生活から小学校では一斉授業で行う形で行ってきたことが限界を迎えていることを課題として捉えている。

保育園でのアプローチ、小学校ではスタートカリキュラムで連携を意識して、接続期の充実に取り組んでいきたい。

小学校から中学校の連携についても東小の講話に南小と西小の児童が集まったりと小学校間の行き来を進め、顔なじみになれる取り組みを積極的に進めたい。

**議員** 学校は地域の未来を担う人材を育成する場である、地域との連携の取り組みの現状は。

**教育長** 東小ではふれあい広場、ふれあいルームで既に始まっている。地域の方の提案で動き始めている。この取り組みは大変参考になっている。こういった取り組みを進めていきたい。

### スポーツ協会設立・健康増進事業推進

**議員** 町全体のスポーツ団体を統括し、競技力向上を支援する団体である、「町スポーツ協会」の設立が必要である。

ひらいて ひろし  
平出 広志 議員



**町長** スポーツ協会の必要性について異論はない。各競技団体の連携が不可欠だが現時点では難しい。振興計画の中で推進体制の議論が検討されると思う。

**議員** 「プロから学べるトレーニングプログラム」が廃止予定だが、各個人の目的に適したトレーニングメニューを提案指導する素晴らしい事業である。十分の成果を出しているこの優良事業は継続すべきである。

**町長** 上伊那にもトレーニング施設ができ、あえて行政がすることではないと考え廃止とした。

**議員** 幅広い年齢層が低料金で気軽に健康増進を図ることは、公的事業として非常に重要である。事業の復活を強く要望する。

### 道の駅構想は検討が必要

**議員** 計画の加工施設は狭く、体験プログラムや休憩スペースを広くすべき。情報発信機能では、インフォメーションコーナーを作り、周遊観光のコンシェルジュを配置すべきである。

**町長** 地域連携機能で休憩機能だけではなく、体験スペースについては同感であるので研究したい。

**議員** 後発の道の駅は前例のない地域創生、観光を加速する拠点となるべく、現整備計画から更に進化した計画を要望する。

## 町道補修工事を 長いスパンで 整備を

**町長** 区の要望によりオーバーレイも  
組み合わせて検討

**議員** 道路の補修に当たってもっと広  
いスパンで補修し、仕上がりが滑ら  
かな路面にならないか。

**町長** 区の要望に基づいて町道 1、2  
級以外は国負担金がかかるので、1年  
間で広い範囲をすることができない  
場合もあるが計画的な施工を考えて  
いく。負担金のかからないオーバー  
レイも組み合わせて施工していく。

### 地域公共交通の見直しを

**議員** 高齢化が進み、運転免許証の  
返納が増える中利用者増加に対応し  
「みのちゃんバス」と「まちなかタク  
シー」の運行時間帯の拡大ができな  
いか。

**町長** 運転手の確保が非常に難しく  
現時点では拡大は難しい。高齢者の  
利用が増える中で、バス、タクシー  
の利用者の負担の公平性、平等性  
について整合性が取れるか検討して  
いく。

### 高齢者が地域で暮らせる 体制づくりの検討とは

**議員** 高齢者が地域で暮らせる体制  
づくりを小学校単位で話し合う協議  
会を立ち上げ地域の課題解決力の向  
上に務めるとは。

**町長** 今まで高齢者支援については、  
地区社協などの区単位の活動で頑  
張ってきていただいたが、常会未加  
入者の増加やコロナ後の地域行事の

こいでしま ふみ お  
小出嶋 文雄 議員



考え方の変化、働きながら地域の支  
え合いなどの役員を担っているなど  
の負担感などから事業の実施が難し  
くなってきている。もう少し広い意味  
で区を超えた地域的な連携を地域課  
題の解決に結びつけていきたい。来  
年度はモデル地区を1箇所発足させ  
たい。会議には、社協の地域福祉コー  
ディネーターから呼びかけ、地域の  
方、民間の企業、団体の方も参加を  
考えている。

### 農地中間管理業務を行う 仕組みの導入効果は

**議員** 農地の集約と集積と耕作放棄  
地の解消のために農地中間管理業務  
を行う仕組みが導入されたが、導入  
により農地の集約と集積と耕作放棄  
地の解消がどのように進展したか。

**町長** この制度の周知がなかなか進  
んでいない状況である。実態として  
はまだ農地の貸し手と借り手が農地  
中間管理事業を活用できていない。  
農地の集約がある程度進むまでは、  
中間管理「みのわ営農」のような法  
人をお願いしていかざるを得ないと  
考えている。

その他の質問

● 保育園お昼寝用コットの導入について



お昼寝用コット

## 既に始まっている 『多死社会』問題 町の対応は

**町長** 見合う専門職を増やし  
終活支援の仕組み作り必要

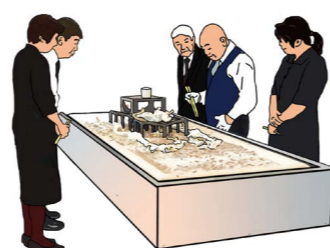
**議員** まだ耳慣れない言葉だが、高  
齢者の死亡が急増し高止まりする現  
象である。火葬場不足、孤独死、  
無縁遺骨の増加、介護・医療人材不  
足、相続・空き家問題が深刻化する。  
当町は、2023年に死者数が初めて  
300人を超え、対して出生数は半分  
以下の148人になった。当町の対応、  
町長の現在の認識は。

**町長** これまで家族や親族が担って  
いた終末・死後の支援が得られない方  
が増加している。終末支援は亡くな  
った後まで長い期間の伴走支援が必  
要。それに見合う専門職を増やし、終  
活支援の仕組み作りが必要と考える。  
令和9年度に向け体系的な終活サ  
ポート体制を研究したい。

**議員** 火葬待ちの状況が増えエン  
バーミング\*需要の高まりが予想され  
費用負担増加が懸念される。火葬場  
非所有自治体として今後の方向性は。

\*エンバーミング ご遺体を殺菌消毒、防腐処理、  
修復、化粧を施し、生前の安らかな姿に近づける技術。

**町長** 火葬場の取り組みはこれからの  
課題。県内で火葬場を持たない市  
町村は、箕輪町を含め5町村のみ。伊  
那市営火葬場は築44年で老朽化が  
進んでいる。現在、箕輪町民の使用料  
金は伊那市民の5倍の55,000円だ  
が、それでも令和7年決算は300万円



かなざわ ゆきのぶ  
金澤 幸宣 議員



の赤字見込み。これに伊那市税が投  
入されていて次年度は、65,000円に  
なる見込み。今後、箕輪町民にも理解  
をお願いする。建て替え議論があれば  
箕輪町も参加するか判断しなければ  
ならない。そういった時期が来つつ  
あるが、まだ議論が始まっていない。

### 林野火災発生防止対策は 進んでいるか

**議員** 近年、世界各地で林野火災が  
急増し、日本でも大船渡市の大火害  
は記憶に新しい。市では来年度30億  
円超が予算化される予定だが、殆ど  
が焼失森林復旧の事後処理費です。  
発生防止を目的とした政策はまだ十  
分に体系化されていない。東西に山  
林近接住宅地区の多い当町は予防的  
対策の検討が必要では。

**町長** 本当に危険を感じているが、妙  
案がない。提案が有ったら是非協力  
願いたい。

**議員** 延焼防止目的として防火帯整  
備や間伐強化を明確化する考えは。

**町長** 今、森林管理整備管理法が動  
き始めている。松喰い虫の伐倒燻蒸  
処理は防災面でも非常に課題が多い  
部分だが、松喰い虫対策との全体を  
含めて議論しないとイケない。何か  
方策があるか研究する。

その他の質問

- 年度末工事の対応について
- ふるさと住民登録制度について
- 大学奨学金返済補助制度について

## 道の駅整備の 方向性は

**町長** 町民に愛される  
施設を目指す

### 道の駅構想は

**議員** 農業振興の観点から道の駅に  
ついて質問する。令和9年4月開設を  
目指す方針が示された。これまで約  
20回にわたり関連質問を重ねてきた  
が、ようやく具体化したものである。  
当初は直売所中心の構想であったが、  
現在は機能の多様化が求められて  
いる。町長の基本的な考えと構想  
を問う。

**町長** 当該地は長年活用が課題であ  
り、検討と議論を重ねてきた経過が  
ある。にこりこり帯の検討会議を経  
て、まずは地域に愛される施設づく  
りを優先し、リニューアルを実施した。  
現在は売上・来客ともに伸長してい  
る。今後は農を基軸に交流・観光機  
能を加え、町内外から人が訪れる拠  
点とする考えである。

### 体験型への転換

**議員** 今後は物販中心ではなく、体  
験型や食に特化した施設が必要であ  
る。そば打ちや味噌づくり、果樹や  
農産物を活用した体験など、地域資  
源を生かした展開が重要であると考  
える。

**町長** 体験や加工の要素は重要であ  
り、既存施設の活用を含め充実を図  
る考えである。来訪者の滞在時間を  
延ばし、直売所利用につなげる仕組  
みづくりを進める必要がある。

おぎはら しょうぞう  
荻原 省三 議員



### 地域連携強化

**議員** 農家や商工業者が関わる地域  
密着型の道の駅が必要である。地元  
に愛されることが継続の前提である。

**町長** 主軸は直売所であり、新鮮さ  
や特色ある品ぞろえが重要である。  
JA等と連携し集客とリピーター確保  
を図る。また飲食機能の充実も段階  
的に検討する。

### 農業振興策

**議員** 農業者の減少が進む中、農地  
を守り次世代へ継承する施策が重要  
である。新規就農者の確保と支援の  
考えを問う。

**町長** 農業は地域維持の基盤であり、  
全住民が関わる仕組みづくりが必要  
である。農家を主体に支援を行い、  
規模拡大や継続を後押しする。農業  
施策は今後も重要課題として取り組  
む考えである。

### 交通課題

**議員** 春日街道交差点の右折レーン  
整備の進捗を問う。

**町長** 県と連携し全方向の右折レー  
ン整備を計画している。用地測量に  
着手予定であり、令和9年  
度の工事着  
工を目指す。



## 集中豪雨対策の 松島区整備 具体的内容は

**町長** 水路改修及び  
舗装面の改良を実施

**議員** 近年の集中豪雨、ゲリラ豪雨の増加により、地域づくり施設管理等が重要課題となっており、雨水排水対策、松島区域内の整備の具体的内容は。

**町長** 7月8日にいわゆるゲリラ豪雨が発生、消防第三分団の詰め所前から国道153号交差点までの間が、上流からの排水ができず滞留したことが原因で、事業所も含め住宅で床下浸水等の被害が発生した。今回対策の事業内容は、雨水を雨水管水路へ排出する水路改修。雨水が宅地帯に侵入する要因となっている道路の高さを下げる、舗装面の補修を実施。

**議員** 豪雨等で災害が発生した際、まずどこに連絡すべきか。

**町長** 区を通じても構わないが、役場に電話等で、夜間休日を問わず連絡を。

## 令和8年度の保育園の 運営状況は

**議員** 全保育園で未満児保育、長時間保育を実施。令和8年度の各保育園への入園予定者の状況は。

**保育園室長** 全体で762人。3歳未満児が478人。7年度と比べ15人増加予定。

**議員** 未満児の入園状況は。

**保育園室長** 少子化が進み保育園利用者は全体では人数減。しかし共働き世帯の増加、核家族化、女性の社会進出など子育て環境の変化から未満児保育の利用規模は増加。例年9月

なかむら まさよし  
中村 政義 議員



に未就園児のいる世帯を対象に入園希望調査を行い11月初旬に入園申込みを実施。受入れ可能人数を上回った場合は、各家庭の就労状況、家庭状況など利用調整基準により、優先順位の高い方から第一希望への入園を決定。受入れ可能人数を超えた場合はその他の園へ案内する場合もある。

**議員** 松島保育園の大規模改修は運動会終了後、10月以降に園庭改修工事を着手予定だが工事期間の園庭の外遊びはどうなるのか。

**保育園室長** 工事期間中は、園庭での外遊びはできない。西側にあるクローバーの丘や近隣にある児童公園等で外遊びができるよう確保したい。

## 部活の地域クラブ化は

**議員** 部活の地域クラブ化の取組内容と、事故等があった場合の責任の所在は。

**教育長** 箕輪町の部活の地域クラブ化は、昨年推進委員会を発足し、各部活動の実情に応じた体制構築を進める。8年4月からは、先行して地域クラブ化を図る部活動を本格的に開始する予定。事故の責任等の問題は重要な問題と認識している。文科省や県の方針に沿って考えると、原則として運営主体の地域クラブ側に責任はある。指導者が過度な不安を考えることなく活動に専念できるよう環境整備の検討を進める。

## 高齢者の栄養管理 とフレイル予防の 実態の把握は

**町長** 健診などの結果を  
活用して把握している

**議員** 高齢者の低栄養のリスクや、フレイルの実態をどのように把握しているか。

**町長** 後期高齢者健診、さわやか健診の結果を活用して、低栄養などフレイルの兆候を把握し予防に取り組んでいる。令和7年度においては、705人の健診から低栄養208人と口腔リスク221人を抽出し、個別支援と予防を実施している。

**議員** フレイル予防をより一層進めていくために、多職種との連携をどのように広げるか。

**町長** 医療介護連携会議や多職種連携検討会などで、医師、薬剤師、看護師、介護職等と連携をしている。専門職の力で高齢者の当たり前の暮らしを維持していくために、今後もぜひ連携を進めていきたい。

## 更年期障害に対する 支援体制は

**議員** 町として企業と連携し、更年期障害に対する理解促進や相談しやすい職場環境づくりを進めるために、どのような支援を行っているか。

**健康推進課長** 企業と意見を交わす中で、従業員の健康づくりや職場環境の改善に向けた取り組みについて、相互に学び合う機会を重ねている。企業との関わりを大切にしながら、健康経営の視点や、支え合える職場環境づくりについて連携を深めていきたい。

きたの  
北野 めぐみ 議員



**議員** 更年期症状を自己チェックできるリストを保健センターに置いたり、ホームページに掲載したりして周知してはどうか。

**健康推進課長** 既にインターネット等で確認できる状況だ。この情報を紹介して周知していきたい。また、チェックリストの内容にとらわれ過ぎることのないように、あくまでも自分の体調を振り返るための参考として活用するように伝えていきたい。

## 消火器の点検体制および 安全確保について

**議員** 消火器の更新や廃棄を安全に進めるために、どのように回収体制を整え取り組んでいるか。

**総務課長** すべての消防団の分団ではないが、毎年ご家庭へ回覧板等を通じて消火器の更新、また廃棄の斡旋をしている。その対応をしていない地域では、区長と相談して取り組みを考えている。

**議員** 高齢者世帯への消火器の点検や交換に関する支援は。

**総務課長** 民生委員や区長に、チラシ等を通じて相談をいただける体制を作っていくことが大事だと考えている。



## 持続可能な農へ 多様な担い手への 支援は

**町長** 組織再編で農業を  
包括的に支える

**議員** 農業再生協議会は米政策が中心だが、新規就農は果樹や花卉など多様化している。担い手の減少・高齢化が進む中、小規模農家も含め、町全体で農業再生を再構築すべきでは。

**町長** 農業再生協議会と営農支援センターを統合し、米政策、担い手育成、農地集積、有機農業・地産地消の4委員会を設置。農業全般を協議する体制に再編する。女性団体の設立も検討する。

**議員** 営農型太陽光発電について私は消極的立場。町は水田での設置を検討しているが、高齢化した農家の水田への売電目的では持続可能な農業につながらない。酷暑や霜対策として有効との果樹農家の声もあり、現場の需要に応じた協議が必要では。

**ゼロカーボン推進室長** 町が、県のモデル自治体に認定された。営農継続と所得向上の方向で合意し取り組む。分科会で景観や合意形成を協議し、水田や果樹で地域モデルとして実証設備の設置可否を調査する。

## 多様な農業への支援拡充

**議員** 国の支援は手厚いが専業農家が前提。今は兼業農家や小規模コミュニティの活力を生かす農こそが人を引きつける。町が独自に動かなければ、意欲ある層は支えられない。支援の拡充を。

**町長** 国が対応できない層に対し、町独自で次世代人材支援事業を

なかの ともみ  
中野 友美 議員



農ある暮らしの様子

施。来期は要件を緩和する。農業に付加価値を加えた地域活性化策も検討する。

**議員** 給食米を町内産に一本化するのを機に、有機農業を後押しする「オーガニックビレッジ宣言」は。

**町長** 重要性・関心度は非常に高いが、農業流入防止など技術的課題がある。諸条件がクリアできたら、宣言を検討する。

## 森の恵みを生かす 暖房支援

**議員** 薪ストーブが補助対象となり、間伐材の活用が進んだ。蓄熱式で高効率なペチカも対象に加えるべき。電力を使わず、地域資源を活用するのは、最も脱炭素社会に貢献する本質的な施策だが見解は。

**町長** ペチカは未検討。初期費用や補助の必要性、他自治体の状況などを踏まえ研究する。

その他の質問

- 事業評価に「地域幸福度・ウェルビーイング指標」の導入検討を
- 行政運営に民間活力の導入を

## 人口減を受け入れた スマートシュリンク 型のまちづくりを

**町長** 理解はしているが  
そこまでいいない

**議員** 国の人口対策が減少を食い止めることからいかに適応するかに軸足を移す中、地方でもスマートシュリンクの動きが広がっている。スマートシュリンクとは人口減少と高齢化のもとで自治体が行政サービスやインフラを賢く縮小集約し効率化する戦略で、インフラ集約による維持管理コストの抑制、行政サービスの最適化、地域の役割分担、利便性安全性の追求が柱となっている。当町の振興計画や総合戦略もスマートシュリンクの考え方を採り入れて見直すべきと考えるが。

**町長** 第5次振興計画では人口減少も想定した計画を初めてつくった。それまでは人口は伸びるということを前提に計画を作っていたが、人口は減少するものだという事にした。ただ、目標として二つのテーマを掲げた。一つは、人口減少時代に即した暮らしへの転換とした。人口減少によって暮らしを脅かす様々な課題が想定されるが、現在の暮らし易さを維持するためには新しい時代に即した行政運営に切り替える必要があり、箕輪ならではの豊かさは求めたいということ。一方で、将来の暮らし易さを守る人口規模は維持する必要がある。目標値としての人口設定をした。急激な人口減少は大きな影響を及ぼすので、出生の増、転入の増を目指し、人口維持を目指すとした。言わば両にらみの政策展開をしてきた。この政策は現在も変わって

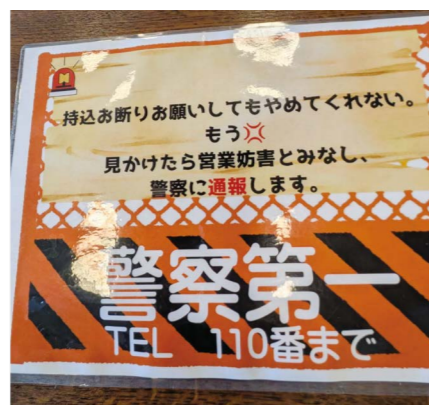


いない。何れかの段階でスマートシュリンク型のものに移行するということは理解をしているが、現時点ではそういうところまで行ってない。

### ながたの湯は町の宝 皆に愛される施設に

**議員** ながたの湯は地域NO1施設で外に誇れる町の宝だが、設備修繕の遅れや貼り紙、狭隘な通路などに改善を求める声が聞かれる。高齢者のフレイル予防、介護予防、健康づくりでも役立っている施設でもある。料金だけでなく、お湯や接遇の良さで愛されるながたの湯になって欲しいが。

**町長** 20万人を超える利用者があり、地域の皆様に愛される施設にしなければと思っている。エントランスや通路については出来る限り通行できるよう改善したい。行き過ぎた貼り紙は許されるものではない。従業員教育に務めて行くのでお客様の協力もお願いしたい。



ながたの湯の貼り紙

## 雇用の確保を 主眼にした 企業誘致を

**町長** モノづくりの町に  
相応しい業態が望ましい

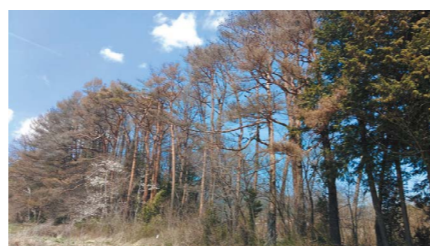
**議員** 計画中の産業団地に誘致する企業の業種や業態、町内既存企業へのインセンティブなど、企業の選考基準は。

**町長** 基本は雇用につながる業態を想定している。製造業の町なので、町内企業と連携を図れるような企業の進出が望ましい。

### 松枯れ対応は 優先順位を明確に

**議員** 松くい虫による被害の拡大が年々早まっている。住宅地やライフラインへの被害対応を優先するとともに、枯れる前の伐採で資源の有効利用を。

**町長** 被害の拡大が早く、予算的にも人的にも対応しきれない状況にあり、諦める松林も出てきている。補助事業が前提のため、被害に遭う前の伐採が難しく、アカマツの有効利用に至っていない。



処理が追いつかない松枯れ被害林

### 町営住宅の更新も視野に 住環境の整備を

**議員** 人口減少が著しい地域への宅地造成支援も住宅建設まで至るケー



スが少なく、上古田町営住宅の改修・更新など、町有地の活用で移住定住の促進を。

**町長** 上古田のように活用できる町有地は検討の余地がある。今後は空き家の活用が一層重要になってくるので、空き家対策との両輪で検討すべき課題。

**議員** 周辺部の空き家は供給が追い付いていない。均衡のとれた発展のためにも、戦略的な町営住宅の活用を。

### 花もも街道をつくる会への 伴走支援を

**議員** 春の観光を担ってきた西部地区の花もも街道も、実施主体の高齢化により事業継続が困難になっている。管理本数の削減や延長の縮減など、会の要望に沿った伴走支援を。

**町長** 町の春を飾る観光資源ではあるが、街道全体の管理を継続していくのは困難な状況だと認識している。会としての方向性を示していただければ町としての支援を検討していく。



年間を通じて整備される花もも街道

## 産業団地造成で どれほど雇用が 増えるか

**町長** 約190人の雇用を  
見込んでいる

**議員** 産業団地造成でどれほど雇用が増えるかを見ているか。

**町長** 県に提出した計画では新たに約5haを転用し約190人の雇用増を見込んでいる。一方、これは申請上の想定である。農地法にもとづく計画変更で工場団地を整備するものであるが、実際には農家が就業を辞めて移ることは想定せず、町内外からの新規就職者獲得を前提とした計画である。

### U・Iターンの促進は

**議員** みのわU・Iターン応援プロジェクトの成果は。

**町長** 平成31年開始の本プロジェクトは6本柱で構成している。住まいの確保をすること、U・Iターンの就労とか企業の支援をすること、移住者のフォロー体制を構築すること、箕輪町とのつながり確保策をつくること、Iターンの促進をすること、U・Iターン希望者を引きつける魅力あるまちづくりをすることである。本プロジェクトにより移住者は約100～130人、うち県外から20～30人が流入し一定の効果があつたと評価するものである。一方で20代女性の転出超過や若者のUターン不足は依然として課題である。進学・就職で20代は流出するが、30代以降は転入超過に転じており、若年層の流出抑制が今後の重要課題である。



### 地方債の活用は

**議員** 地方債発行の基本方針は。

**町長** 金利上昇は大きな課題であり、国際情勢や金融政策の影響を受けるため将来予測は困難であるが、内閣府試算では今後10年間、長期金利は1.7%から3.7%で推移し高止まりが見込まれる状況である。事業実施は本来必要な時期に行うべきであるが、人件費や物件費の増加、町債償還を踏まえれば、当面は事業を先送りし償還の平準化を図ることが財政運営上望ましいと考える。

### 詐欺対策の強化は

**議員** 特殊詐欺防止策は。

**町長** 町では電話防犯機器設置補助や年金日に啓発するなどの対策を継続している。地区の自治会とも連携し、防犯講習会や啓発チラシ配布で地道に呼びかけている。金融機関にも協力を依頼し、氷山の一角と認識している実態に対応している。近隣の伊那署管内でも昨年45件2.5億円の被害が発生し、本町でも9件4,455万円の被害が報告された。これは氷山の一角と認識しており、さらなる対策の必要性がある。若年層の被害も増加しているため、高齢者対策に加えて若い世代への注意喚起が課題である。若年層向けの詐欺対策講座やSNSを活用した情報発信に取り組む方針である。また町報や公共施設での注意喚起も強化する。

## 有機専用町民菜園の検討は進んだか

**町長** 有機主体の町民菜園拡大を検討

**議員** 一昨年、有機栽培・自然栽培専用の町民菜園を作ってはどうかと提案したが、その後の進捗は。

**町長** 次年度、有機主体の町民菜園の拡大を検討している。

**議員** 畑を始めたい町民と、農業機械を持っている町民とのマッチングとしては。

**町長** 都会にシェア農園があるが、農機具付きはあまりない。指導者付きと農機具付きのシェア農園みたいなものがないか検討したい。



## 学童クラブ指導員の不祥事案について

**議員** 再発防止策は。

**教育長** 代替職員を含む学童指導員に対して研修を実施。こどもとの距離の取り方についても指導。今後、こどもや保護者からの声を丁寧に聞き対応するとともに、学童指導員間の情報共有を行う。

**議員** 日本では性について体系的に学ぶ機会が十分にない。こどもが相談する相手は、保護者や地域の大人。以前、町民向けに、人権と健康の教

おぐち ちせ 議員



育である包括的性教育の研修を提案したが、その後の進捗は。

**教育長** 根っことは人権教育。毎年行っている人権尊重のまちづくり講演会でジェンダー関係の内容もあった。そういうことの積み重ねをしていきたい。

**議員** 大人が性についてタブー視していると、こどもが被害に遭ったときに相談しづらく、相談しても二次被害に遭ってしまうことがよくある。「命を考えるお話会」などのタイトルで開催の検討を。

## 学童クラブについて

**議員** 学童クラブの状況と課題は。

**町長** 町内の小学生1,208人の約48%が学童クラブに登録し、非常に混み合っている。

**議員** 混雑が緩和され、こどもの居場所の多様性が保たれ、地域の大人と斜めの関係もつくれる、公民館を利用した児童館を設置しては。

**町長** 学童クラブと児童館の併存を考えたことがなかった。学童クラブについては、もう少し学校施設の活用を広げて人員を出したほうがいいのか。課題を抱えるこどもたちについて、学童クラブと福祉施設とで、どちらがどういう整理をしていくのかという問題のほうが重要かと思う。

その他の質問

●障害児・障害者給付額の推移は

## 町民の声

95号に寄せられたご意見を紹介します。



■ 事業に関すること  
■ 広報に関すること

## 特集 15歳の目 ～自分たちにできること～

■ 中学三年生の志を感じた。行政の「検討します」という答弁で中学生を失望させぬよう願う。

## 定例会で決まったこと

■ 農道・林道状況の悪化は災害リスクにかなりかかっている。早急な対策を。

## 審査のなかみ

■ みのわ BASE の3年契約は判断が早い。町民から改善を求める声があるとする実証（根拠）を詳しく示してほしい。

## 一般質問

■ 円グラフは素晴らしい。誰が質問したかよりも、何を質問したかに興味がある。

■ 議員全員の一般質問は少しくらい。町民の感度の高いものを抜粋でいい。

## 行政視察

■ 良い取り組みを視察している。職員も同行して刺激を受けるべき。

■ 真似るべき良いところを行動につなげてほしい。

## 全体を通して

■ 非常に読みやすくなっているが、存在は気づいていない人も多い。店舗への設置や1ページ目をめくる仕掛け作りなど、手に取る工夫を。

## 議会活動日誌

活動の一部を紹介します

1月	9日	広域連合新春名刺交換会
	11日	消防団出初式
	13~14日	愛知県幸田町行政視察
	15日	上伊那地区社会教育委員会研修会 行政視察来町・佐久市議会
	16日	町商工会新年を語る会・新春講演会
	17日	新春会員大会・伊那青年会議所
	19~20日	市町村長等・議会議員セミナー
	19日	農業振興地域整備促進協議会
	21日	議会運営研修会 みのわアラス道の駅整備計画検討委員会
	23日	「すまいる」情報交換会
	24日	交通安全祈願祭
	26日	みのわ祭り実行委員会
	2月	28日
29日		議会運営委員会 定例協議会 臨時議会 議会運営委員会 福祉文教常任委員会学習会
2日		上伊那広域水道企業団定例会
3日		上伊那広域連合議運
6日		上伊那広域消防本部10周年式典
13日		ハラスメント研修・議員定例協議会
16日		議会グループワーク研修会 福祉文教常任委員会学習会 お土産推奨品審査会
17日		全国町村議会広報クリニック 上伊那広域連合2月定例会 人権尊重のまちづくり審議会
18日		議会運営委員会 長野県町村議会議長会第42回定期総会 国民健康保険運営協議会
19日		定例協議会(予算説明会) みのわ農通常総会 3月定例会議会運営委員会 町交番連絡協議会 みのわ祭り実行委員会
20日		DX推進期末報告会 上下水道運営審議会
23日		みのわまちづくり座談会
24日		安協定期総会
25日	企業振興審議会 文化財保護審査会	
26日	社協理事会 青少年健全育成協議会	
27日	観光協会フォトコンテスト審査会 消防委員会	
3月	1日	自衛隊協会新年会
	3日	小中学校将来像検討審議会
	17日	小学校卒業式
	18日	中学校卒業式 松島神社祈年祭 伊那中央行政組合3月定例会
	19日	議会広報プロポーザル審査会 防災会議 社会教育委員会
	23日	観光商品開発等支援事業補助金報告会
	24日	保育園卒園式
25日	農福連携学習会 福祉文教常任委員会定例学習会	
26日	博物館協議会	

## 姉妹都市協定視察 (愛知県幸田町) 1/13(火)~14(水)

友好姉妹都市を結んだ幸田町について、先進的な事例を中心に行政視察を実施し、当町の施策展開の研修と両町議会、議員の交流を目的として実施、交流の第一歩となった。

参加議員 全議員

## 議会議員セミナー (JIAM) (滋賀県) 1/19(月)~20(火)

講師 湯浅誠氏 広井良典氏 山中大介氏 大西秀人氏  
まちづくりは仲間集めであるとの考えに共感した。人を呼び込む地域づくりとそのための魅力発掘が重要だと思った。学んだ視点を議会活動に生かしたい。

参加議員 寺平・北野・白鳥・小口・中村・小出嶋

## 議会運営研修会 (松本市) 1/21(水)

講師 全国町村議会議長会 平野氏  
当町の議会運営に資するため参加。報酬や活動費の有無、付議された議案数など、議会運営の実態調査をもとに講義を受けた。

参加議員 中澤・入杉・平出・岡田・中野・寺平・北野・白鳥

## ハラスメント研修 (役場会議室) 2/13(金)

講師 帖佐直美弁護士  
今後の議員活動に活かすためのハラスメント基礎知識を学んだ。

参加議員 全議員

## 議会グループワーク研修会 2/16(月)

議員間のレクリエーションとしてレゴシリアスプレイを実施し、互いの考えや価値観を可視化しながら理解を深めました。対話の質向上にも手応えがあり、今後は住民の皆さんとも実施していきたいと考えています。

参加議員 全議員



## 町村議会広報クリニック研修 (東京) 2/17(火)

講師 越地真一郎氏  
議会だより「みんなのざかい」を、議会活動に対する住民の関心と理解を深めるものとするため、広報実務担当議員が、専門家による評価アドバイスを受けた。


参加議員 中野・上田・北野・中村



## 農福連携学習会 (役場会議室) 3/25(水)

講師 一般社団法人 クロスオーバー 沖村さやか氏  
社会的に生きづらさを抱えた方が増えている今、当事者と事業者の共生が求められている。箕輪町での農業と福祉の連携の可能性を探った。

参加議員 岡田・中野・入杉・平出・荻原・金澤・白鳥  
上田・小口・寺平・北野・小出嶋

仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える 

# 自治チカラ Vol.9

## 一の宮予備消防隊

平成15年正副分団長と経験者4名が中心となり、「自分の住んでいる所は自分で守る」の理念に賛同した計7名で発起人会を結成。平成17年1月に設立総会を開催し規約・事業計画等を決定した。以降、消火栓点検や防災訓練参加、分団との懇談を継続。可搬ポンプ点検やAED講習会、家族交流会も実施してきたがコロナで中断。現在は隊員17名（47～84歳）で、未経験者も含め明るく活動。「自らの安全は自ら守る」を基本に地域防災に努めている。



平成24年 予備消防訓練 (みのわ新聞より)

今回は木下区一の宮在住の向山昇さんにお話を伺いました。一の宮は、古くから住民同士の結びつきが強く、地域で支え合いながら暮らしと安全を守ってきた歴史を有する。農業を基盤とした共同作業や祭事、防災活動を通じて相互扶助の精神が育まれ、



一の宮 家族交流会



消防団活動もその流れの中で発展してきた。地域の課題に対しては自ら行動する気風が根付いており、「自らの安全は自ら守る」という意識が世代を超えて継承されている。こうした伝統が現在の地域防災の基盤となっている。

筆 荻原省三

### 一の宮開拓地

一の宮地区は、戦後の開拓事業によって開かれた地域です。アカマツ林や原野の木の根を掘り起こすところから始まり、やせた土地では、大豆づくりのために落ちていた牛ふんを集めて肥料にしたといえます。特に苦労したのは水の確保で、帯無川の水利権がない中、山の斜面に横穴を掘り、竹管で水を引く工夫がされたそう。水道が完成したのは昭和25年。暮らしが安定した昭和30年以降に開拓組合は解散されました。今、豊かに暮らせる地があるのは、この開拓した方々のおかげなのです。現在も公民館には、開拓の歴史を伝える碑が残されています。

### 編集後記

若葉の緑がまぶしく、吹き抜ける風が心地よい季節となりました。先のオリンピックでは、フィギュアスケートの「りくりゅうペア」が見せた演技に胸を打たれ、いまでもさめやらぬ感動を与えてくれます。任期も残り1年となりました。町民の皆さまに親しまれ、町民と議会の架け橋となる紙面づくりを、これまで以上に心がけていきたいと思えます。町の皆さまが何を知りたいのか、その声に耳を傾けながら、これからも議会だよりづくりに取り組んでまいります。(北野めぐみ)

### 6月定例会の予定

- 5月29日(金)……………開会
- 6月 8日(月)……………一般質問
- 9日(火)……………一般質問
- 10日(水)～12日(金) ……委員会審査
- 16日(火)……………閉会

### 議員辞職

南朋子議員は体調不良のため12月31日をもって議員辞職しました。  
なお補欠選挙については公職選挙法により、任期満了までの期間・欠員数等を踏まえ、実施されません。

### 【議会広報特別委員会】

中野 友美 (委員長) 上田 学 (副委員長) 意見・お問い合わせは  
荻原 省三 北野 めぐみ 中村 政義 コチラ▶

議会事務局  
電話 0265-79-3187(直)

